

# 徳島バッテリーバレイ構想推進会議（第3回） 議事要旨

日時：令和7年3月13日（木） 10：00～

場所：徳島グランヴィリオホテル

議事要旨：

「資料1 徳島大学におけるバッテリー教育プログラムの実施報告

資料2 徳島バッテリーバレイ構想推進・関連施策の進捗状況  
及び戦略推進について」

につき、徳島大学及び県事務局より説明。

---

「戦略推進」等について、メンバーからの発言要旨は以下のとおり。

## ○エコシステムの構築

- ・循環型のサプライチェーンを構築するためには、企業誘致や新規参入といった動脈整備の段階から、静脈にあたるリサイクルの設計を進めるべき
- ・最終需要を絞ると、そこが閉じたときにエコシステムの上流部分まで影響が出てくるため、最終的な需要をどこに設定するのかを逆算してエコシステムを設計する必要がある

## ○サプライヤーへの融資

- ・サプライヤーの多くは中小企業のため、大企業だけでなく、そういった企業への融資も積極的に検討いただきたい

## ○蓄電池の用途の広がり

- ・電池の魅力を伝えるにあたっては、データセンターでの使用例など、蓄電池の用途の広がりにより、情報セキュリティの観点では国家レベルで貢献できることを周知していく必要がある

## ○採用活動

- ・産総研関西センターにて電池の座学と実習を修了した学生を、取りこぼしのないよう採用に繋げていくことも重要だと感じた

## ○リスクマネーの供給

- ・特定投資業務は大企業への支援だけでなく、数百万円の案件も存在するため、中小企業サプライヤーへのリスクマネーの供給にも対応可能

## ○融資相談への対応

- ・バッテリー関連の融資は、相談があればできるだけ事業者のニーズに沿う形で個別に対応させていただく

## ○国内での製造基盤の構築

- ・徳島県の製造業の補助制度は全国的に見ても破格の内容となっている
- ・電池が半導体と並んで官民一体となって取り組んでいる中で、全国の自治体の中でも活発な動きが広がると国内の製造基盤がしっかりと出来てくると思う

### ○教育機関との連携

- ・県内の学校にて再生可能エネルギー100%利用のモデル実証を行うべき

### ○中国企業の台頭

- ・東京で行われた蓄電池の展示会に参加したが、大規模展示はほぼ中国企業によって行われており、蓄電池市場における中国勢の割合の高さを感じた

### ○ファイナンススキーム

- ・金融機関が実施する気候変動対応に資する投融資について、バックファイナンスを行う「気候変動対応オペ」を設けている
- ・今後バッテリーバレイ構想に関連した投融資を行う際には、円滑なファイナンス構築のため、このオペもスキームに組み込んで検討していただきたい

### ○最終需要の設定

- ・日本全体の輸出入の最近の特徴として、A Iと非A Iで明確に差が出てきており、世界的にA Iに関連する製品の需要が高まっている
- ・バッテリーの最終需要をどこに求めるのか、どのくらい分散させるのかといった検討の際には、A Iと非A Iの状況も念頭に置きながら議論をお願いしたい

### ○融資相談への対応

- ・政府金融機関との連携や補助金の活用を行いながら、事業計画に沿って企業価値や事業価値を精査し、融資の協力をしていきたい

### ○中小企業への支援

- ・国の掲げる目標に対して、中小企業は人・もの・金が不足しており、また生産性向上のための開発研究も進めていることから、特にその3点への支援を積極的に行っていただきたい
- ・補助制度の要件として地元雇用人数を設けているが、売り手市場ということもあり、中小企業では達成が難しい現状がある

### ○蓄電池人材の育成

- ・関西蓄電池人材等コンソーシアムが産官学協力のもと作成した教材を積極的にご活用いただき大変感謝するとともに、引き続きコンソーシアムと徳島県の連携を深めていきたい

### ○情報発信

- ・他地域でもバッテリー関連産業へ力を入れるという話が出てきている中で、徳島県をどう売り出していくのかといったところを地元企業等の関係団体と意見をすり合わせ、気運が高まるような情報発信の場を工業技術センターと一緒に進めていきたい

### ○産業界の連携

- ・連携する企業間で互いの強みや弱みを把握し、その上で連携を行うほうが良い